

国保通信



▼問い合わせ

市民生活課 保険年金係

☎ 75-12159

☆医療費について考えましょう

国民健康保険(国保)は、病気やケガをした場合に安心して医療を受けられるように、加入者(被保険者)が普段から保険料を納め医療費の負担を支え合つ、「助け合いの制度」です。

国保の運営は(市が行っています)、左図からもわかるように一人当たりの医療費は年々増加し、佐賀県の平均値より高い状況にあります。原因としては高齢化、医療技術の進歩、生活習慣病の増加などが考えられ、多久市の国保財政は極めて厳しい状況にあります。



これからも安心して医療を受けられる仕組みを維持するために...

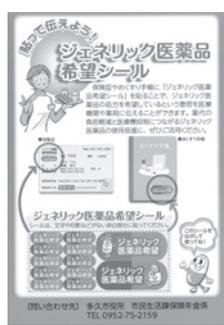
◆一人ひとりが健康な体を維持することが大切です。

生活習慣を見直し、病気を予防したり、年に一度は必ず健診を受けたらして、健康づくりに努めましょう。



◆ジェネリック医薬品を活用しましょう。

ジェネリック医薬品とは、特許期間が過ぎた新薬と同じ有効成分を持った安価な処方薬です。「ジェネリック医薬品希望シール」を活用して医師・薬剤師へご相談のうえご利用ください。
シールは7月に新しい保険証と一緒にお送りしていますが、新たに必要なのは保険年金係の窓口へ申し出てください。

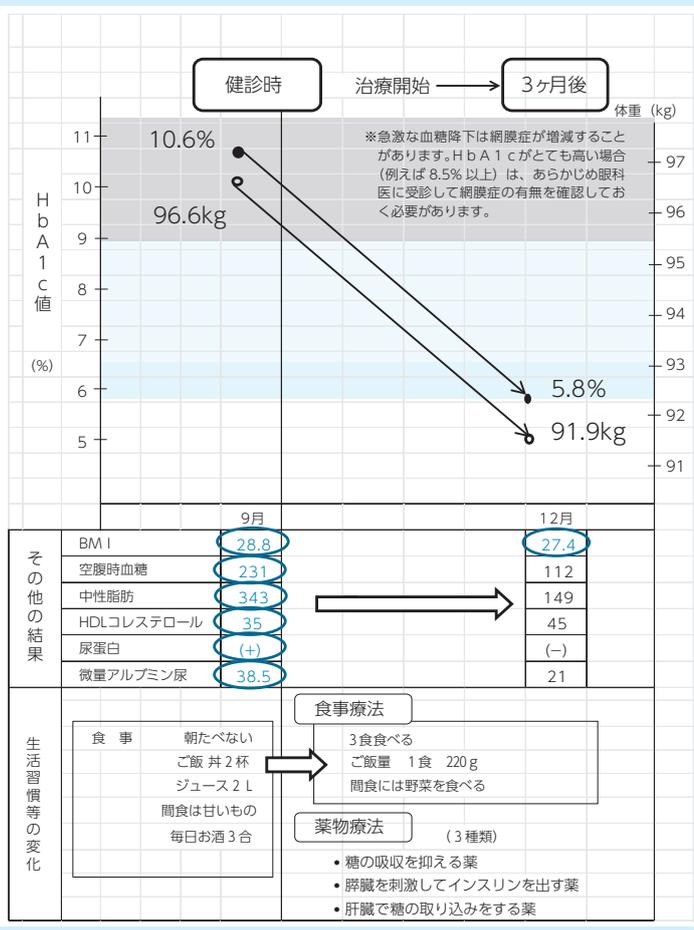


特定健診からわかる自分のからだの状態。健診を賢く活用しましょう。



自分の健診結果から生活を見直し、健康を守りましょう

健診を受けて生活改善をすることで、動脈硬化が改善され、心筋梗塞や脳梗塞などでいきなり倒れることや、腎不全になり透析などの重症になることを防ぐことができます。



▼問い合わせ 健康増進課 ☎ 75-13355

Aさんは、健診で糖尿病がみつかり、治療を開始され、生活改善に取り組みられたことで、3か月後には改善されました。
生活改善の内容を決めて、実行するのは自分自身です。自分の生活に合わせた工夫をすることが継続する秘訣です。
糖尿病は大きい血管や細い血管を傷め、合併症が進んで初めてわかることもあります。これは、生活習慣病が自覚症状なく進行するからです。
みなさんも健康管理のために、健診を受けて、自分の状態を確認しましょう。

